



季節を知ったら  
暮らしが楽しくなった

〔第三九四号〕

立夏りっか

五月六日

## 足袋スニーカー

暦の上での夏、立夏を迎えました。木々は緑に、風は気持ちよく、空は青く、夏が始まります。とくに今年は、野外で活発に過ごしたいという方も多いのではないのでしょうか。野に山に海に、出かけたくなります。

おかげ横丁の神路屋で、ユニークなスニーカーを見つけました。足先が二つに分かれた運動靴。その名も、足袋たびシューズです。今、注目されている靴でもあります。実際に見たのは初めてでした。ジョギング用とふだん用の二種類あり、色も三色ずつ揃っています。

「足の指が開くので、地面をつかみながら歩けます。それにむれにくいのです」とお店の担当者が教えてくれました。横丁内には仕事用に履いている人もいます。

さっそく足袋シューズを履かせてもらうと、足を包みこむようなホールド感に驚きました。それに軽い。これなら、日常使いにも株にも向いていると思います。私は、伊勢神宮の遷宮行事せんぐうの御木曳おきひきや御白石持おしろいもちの際に、地下足袋を履きましたが、この足袋シューズは、靴底に厚みがある上、エア付きのため弾力があり、足を守ってくれる上、地下足袋じかたびより、履きやすく、脱ぎやすいのも使い勝手がいいと思いました。今度の御木曳行事には、これを履きたいと考えました。

この足袋シューズは岡山県のMARUGOが製造しています。もともとは大工や造園職人、お祭りに参加する人々が使う地下足袋を製造している創業百年の地下足袋メーカー「丸五」が、手掛けた足袋型のシューズなのです。倉敷の老舗の技が、新しい靴を作り上げたのです。

働いて遊ぶたのしさ夏来る

吉田小幸

原色にだんだん近く夏に入る

稲畑汀子

新しい靴を履いて、どこかに出かけたくなる五月立夏の頃です。

文 千種清美



# おかげの里便り

## おかげ横丁

### ○ 第二回 豊穰祈願 日本酒の宴

5月14日、風日祈祭(かざひのみさい)が伊勢神宮で執り行われます。  
風雨の災害もなく天候が順調で、五穀の稔りが豊かであるよう御幣を捧げてお祈りするお祭りです。  
おかげ横丁では風日祈祭を奉祝し、三重の日本酒をご披露して「祈りと稔り」に想いを致しながら愉しむ宴を開催いたします。

と き／5月14日(日) 17:00～19:00

ところ／おかげ横丁一帯

参加費／前売券4,000円(当日券4,500円)

申込み／おかげ横丁「オンラインショップ」にて前売券を販売中

※天候などの諸事情により内容を変更する場合がございますので、予めご了承ください。

### ○ みそか寄席

毎月末日の「みそか」に合わせて、江戸の趣きを感じる「すし久」2階にて開催される落語会。  
5月は、桂文我氏、林家花丸氏、露の眞氏の3名をお迎えしてお送りします。  
笑いの一夜をお過ごしください。

と き／5月31日(水) 1部19:00～(受付18:00～)、2部21:30～(受付20:30～)

ところ／すし久 2階

木戸銭／前売券2,200円、当日券2,500円

出演者／桂文我、林家花丸、露の眞

定員／各30名(先着順)

※前売りで定員になった場合は、当日券の販売は行いません。

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」電話0596-23-8838

## 五十鈴塾

### ○ 伊勢の文化とまちづくり

現在おはらい町通りは、おかげ横丁を軸に賑わいを取り戻しましたが、1975年頃は正月以外ほとんど閑散としていました。賑わいを取り戻そうと取り組んだのが「おはらい町まちなみ保全事業」です。  
地元のまちづくり運動、貸付制度の創設、近隣商業地域の拡大、おはらい町通りの無電柱化、石畳舗装などの取り組みを伊勢の歴史的文化を背景に行政の立場から説明を伺います。今後も先人の努力を無にする事なく、地元の人達はまちづくりを進めてほしいとの強い願いを込めた講座です。

と き／5月10日(水) 13:30～15:30

講師／阿形 次基(元伊勢市役所職員)

参加費／一般1,200円 会員700円

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

## 五十鈴茶屋

### ○ 五十鈴茶屋節気菓子

#### す 菓つばめ

今年も軒先に燕が巣を設ける季節になりました。  
黄色のくちばしを広げ、親燕の帰りを待つ赤ちゃん燕。  
そんな風景を、お菓子のかたちに写し取りました。  
可愛いくちばしはレモンです。

#### じんぐう ぼら 神宮の薔薇

神宮会館が建つ丘は、雪の如く咲く花に例えて「如雪園」と呼ばれていました。今では百五十種四百五十株の花々が美しい「神宮ぼら園」となっています。  
葛寒天を花びらにし、白あんを包んだぼらの姿をお楽しみ下さい。

#### ナンジャモンジャ

外宮・勾玉池のほとりに咲くヒトツバタゴの木。  
別名をナンジャモンジャといい、緑と白のコントラストが見事です。  
白く細やかな花々を山芋を使ったきんとんで表現しました。